

## 目次 Contents

- 3 【特集】令和3年度 当初予算概要・裾野市の未来のまちづくりに向けて
- 6 【特集】「財政非常事態」を宣言
- 8 フォトグラフ
- 10 令和元年度の財務書類を公表します
- 12 介護保険料を見直しました
- 13 重点課題に注力したメリハリのある組織へ
- 14 4月・5月分の水道料金の基本料金を免除／市税などの納付をスマホ・クレジットカードで
- 15 ボランティアによる環境美化活動を支援／地域の活性化などに取り組む団体募集
- 16 困ったときは相談を／御宿台保育園が認定こども園に
- 17 インフォメーション
- 21 図書館だより
- 22 救急協力医
- 24 裾野っ子／すこやかタウン

## 表紙 Front cover



### 遊歩道を整備しました

新たに遊歩道が整備された梅の里では、白やピンクに色付いた梅の花が見ごろを迎えました。雄大な富士山の姿が眺められる遊歩道は、準高地トレーニングなどに活用されます。



## 「地域探求プログラム」全国ステージ個人部門 文部科学大臣賞受賞

不二聖心女子学院高等学校 2年  
芹澤 愛香さん (16歳・中丸下)

全国高校生体験活動顕彰制度「地域探求プログラム」は、自分ごととして物事を探求する姿勢を身につけ、地域での実践活動で多様な人々と協働しながら地域・社会にある課題解決に向けた取り組みを行うことで、自然や郷土に愛着を持ち、新たな価値を創造する高校生を育成することを目的とした制度です。

子ども会のイベントが大好きだった芹澤さん。「コロナ禍の中にあっても、地域の人たちと交流できる場を作れないか」と考え、プログラムに参加。昨年7月に国立青少年交流の家で開催されたオリエンテーション合宿で『高校生の発想はすごい』という言葉に後押しされ、自分で企画したイベントを必ず実践、成功させようと行動しました。

芹澤さんが企画、実践したのは、ごみ拾いをしながら中央公園を目指し、園内を探検するアトラクションウォーキングです。地元の子ども会役員の協力を得て参加者を募り、当日は約10人の小学生が参加。子どもたちに地域のつながりやふるさとの魅力を伝えることができました。この一連の取り組みを2月14日(日)に開催された全国ステージで発表したところ評価され、個人の部で文部科学大臣賞を受賞しました。

「自ら企画、実践できたことが大きな自信になりました」と振り返る芹澤さん。「今回の取り組みに関心のある国際交流の分野にも生かし、地域の魅力を伝えたいです」と更なる意欲を語りました。



susonobito No.25